

千曲市復興計画住民説明会④ 議事録（要旨）

○開催日時 : 令和3年1月27日（水）午後7時～8時10分

○開催場所 : 戸倉創造館 大ホール

○出席者 : 小川市長
大内総務部長、竹内企画政策部長、島田市民環境部長、竹内建設部長、
齊藤経済部長、小林企業立地担当部長、荒川健康福祉部長、
滝沢教育部長、堀内議会事務局長

○参加者数 : 市民10名

1. 開 会

2. 市長あいさつ

（第1回説明会と要旨同様）

3. 千曲市復興計画（案）の説明

（第1回説明会と要旨同様）

（事前に配信した動画を使った計画内容の説明）

4. 質疑応答

（質問者①）

・復興計画は洪水に関することが中心となっている。総合防災訓練でも川に関することが主であるが、千曲市は山に囲まれており、土砂災害への備えが必要ではないか。

（回答：総務部長）

・市では防災訓練を二段構えでやっている。一つは市全体のもので、各地区持ち回りで大々的に実施するもの。もう一つは各区等で、それぞれ毎年一回訓練を実施して頂いているもの。

このうち全体の訓練ということになると、大規模となるため消火や避難、消防などの色々な訓練を実施することになる。その中には土砂災害に関する訓練も含まれてはいるが、全体の中の一部となるとどうしても訓練の密度は薄くなってしまう。

昨年、更級地区で重点的な訓練を実施した。その際には土砂災害を想定して学校へ避難する訓練を実施したところ。

今後についてだが、総合防災訓練がイベント的なものになってしまっている現状を変える必要があると考えている。住民にとって一番必要な「確実に避難する訓練」に変えていきたい。

また、各地区で実施する訓練についても、災害を機に、自分たちの地区ではどのような訓練をすれば良いのかを考えて頂き、市もそれをバックアップしていきたいと考えている。

訓練以外に一点、復興計画の中にも記載されているが、各地区での防災計画をできる限り作って頂きたいと考えている。土砂災害が中心となる地区もあれば洪水が中心となる地区もあると思う。区ごとでも、五加地区、更級地区といった単位でも良いので検討頂きたい。それに関しても市でバックアップさせて頂く。

(質問者①)

・実施されていることは分かった。ただ、本当に山は大丈夫なのかという点が不明。いざ土砂災害が発生した場合に、個々では訓練していたが、市全体としては分からないとなれば困ると思う。災害が発生した場合の行動や逃げる場所について、防災ガイドブックに記載したり、ホームページでも良いが市民に広く、分かりやすく、具体的に示して頂きたい。

・今回の災害でNHKの災害映像を見たが、今現在の川の状況が分からないなど、リアルタイムとは言えなかった。復興計画中のICT化の推進にもつながると思うが、もっと分かりやすい映像を受信できるようにして、その映像に付属して注意喚起ができるような対策をして頂ければ避難しやすいのでは。

予算などもあり、すぐに決めることができないとは思いますが、今後の考え方として市のご意見もお聞きしたい。

(回答：総務部長)

・防災ガイドブックについては現在編集を進めているところ。春頃には全戸配布を予定している。頂いた意見も参考にしながら、できるだけ分かりやすいものにしたい。また、どこにどのような危険があるかについても、1,000年確率に基づくハザードマップも含めて分かりやすいものにしていく。

・情報伝達は今回の災害でも課題であったと考えている。色々なシステムや防災無線についても改善できないか検討しているところ。正確な情報をできる限り素早く発信していきたいと考えている。また、住民の皆様にも防災メールの登録など情報を取り

にきて頂きたい。市も区と協力しながら、住民の防災意識を高める努力をしていきたい。

(質問者②)

・今回の水害原因は千曲川そのものだと感じている。復興計画の説明の中で、千曲川の管理は国と県が実施するとなっており、沿線の自治体はお願いをしていくという形になると思うが、計画がそこまでの記述で終わっていることが残念。

というのも、沢山川などは以前から何度も要望を続けており、雨宮の水門を大きくしたり堅牢にしたにも関わらず、こういった水害が起きてしまった。これまでの対応を見ると、臭い物に蓋をするように住民が忘れるのを待っているのではないかと感じられる。

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（以下、「治水プロジェクト」という。）の中で令和9年度までに何らかの方策をするという説明を頂いたが、そこにもう一步踏み込んだ、市独自の対応を示す努力をして頂きたい。

(回答：建設部長)

・要望だけでは何も進まないということは承知している。

先ほどの治水プロジェクトについては、インターネットをご覧頂けるのであれば、千曲川河川事務所のホームページを是非ご覧頂きたい。この中には、国・県だけではなく、市としてどうするかといったことも含まれている。

例えば田んぼダムや、雨の時には空いている幹線水路を使った貯水も進めていく必要がある。またこれまでも実施しているが、開発行為時に雨水調整池を設置するように指導したり、集合住宅の建設時には浸透柵を設置するよう指導して、できる限り水の流出を遅らせるようにしている。今後新しく作る公園には、ある程度の貯水機能を持たせた貯水槽を設置するなど考えているところ。

雨水貯留ということでは、一般家庭へ貯留タンクを設置する際に補助金を出している。一軒一軒での貯水量は少ないが、多くの家庭で設置することで、少しでも流出を遅らせることができる。それによる時間差が浸水被害軽減には重要と考えている。

治水プロジェクトの中で千曲市内に二か所遊水地を整備する計画がある。これは確かに国が実施する事業だが、市もお願いするだけではない。地元説明会などでは市の職員が同席し、国と一緒に説明させて頂いている。今後の各種交渉などでも国と一緒に行動していくのでご理解頂きたい。

(質問者③)

・私の住む地域には雄沢川が流れている。台風の影響で二か所ほど崩れて現在改修工事が実施されている。直してもらうのは良いのだが、この雄沢川は、まちづくり提案

で毎年改修を要望していた。今回崩れたのは要望していた場所に近い所だった。

先日、要望に対する回答が届いたが、そのほとんどが「緊急性の高い所から実施します」となっており、型にはまった回答ばかりと感じた。

千曲市内で何百件もの要望が出ていることは分かっているが、雄沢川の例の通り、そこで住む人達が危険を感じて提案しているので、直接現場を見たり地域住民に話を聞いたりした上で回答して欲しい。

- ・屋外告知放送のデジタル化は良いが、私の家を含めて、現状でも聞こえない場所がある。何度か改善をお願いしたが、日中私がない時に調査に来て、「問題のない場所です」という回答だけだった。放送しているのは分かるが内容を聞き取れない場所は市内にたくさんあるので、市内を一斉点検するなどして頂きたい。

- ・私の地区は更級小学校が避難所になっている。避難所である小学校の鍵を開けるのはどなたなのか教えて欲しい。

(回答：建設部長・総務部長)

- ・雄沢川について、市では県に上申し、現地を確認する中で話をしたという報告を受けている。県の方にも現地を必ず確認して頂けるようお願いしたいと考えている。都合がつくのであれば住民の方のお話もお聞きできればと思う。

- ・屋外告知放送については、「聞こえない」「聞きづらい」といったお話が各地区から来ていることは事実。市も改善を進めてはいるが、向きを変えるとこれまで聞こえていた地区が聞こえなくなるなど非常に苦慮しているところ。

先ほどのお話で調査をして異常がないと言われたとのことについては大変申し訳なかった。再度調査をさせて頂く。

ただ、どうやっても聞こえにくいということで放送機器を新設するとなると、かなりの金額が必要となってしまう、すべてを一斉にやるということは難しい。先ほどお叱りのあった優先順位ということになってしまいが、毎年少しずつ、計画的に増設していきたいと考えている。

また、音声で流したものは必ず千曲市メール配信サービスでもまったく同じ内容を送信している。復興計画の中でも説明があったが、QRコードから空メールを送信して頂くことで登録ができるので、是非ご活用頂きたい。

- ・避難所となる学校について、今回の災害を受けて避難所機能の強化を図っているところ。原則的には学校の管理は先生が行うため、教頭先生を中心として、学校の鍵を開けて頂く。ただ、鍵は市役所にもあるため、どうしても学校側の都合が悪い場合には市の職員が鍵を開けに行く。

(質問者③)

- ・メール登録をとということだが、高齢者にはできない。誰もがデジタルを使える訳ではない。放送設備があるのだから少しは聞こえるような対策をして頂きたい。

・学校を開けるのが教頭先生ということだが、遠方に住んでいれば千曲市の情報がすぐに伝わらず、緊急時にすぐ鍵を開けることはできないのではないか。

(回答：総務部長)

・放送機器については色々と努力しながら進めている。業者とも検討しているが、すぐに改善は難しい。聞こえないということについては、遠慮なくご連絡頂きたい。

お話にあった高齢者の関係では戸別受信機がある。屋外放送と同じ内容を家の中で聞くことができるもので、昨年、一人暮らしや何らかの助けが必要な高齢者に対して希望をお聞きし、希望されたお宅にはこの受信機を設置させて頂いた。

今後どうしても屋外放送が聞こえないお宅についても設置を検討しているが、設置費用を含めた金額が一台あたり5～7万円と高額であり、予算との兼ね合いもあることから、研究させて頂きたい。

・避難所の関係で、確かに遠方に住んでいる先生もいる。その場合は市の職員が直ちに行くということになっている。ただ、現状で一番想定してる状況は台風災害であり、この場合は早い段階で予測が可能となっている。そのため、少しでも災害の懸念があれば早めに先生と連絡を取って、早めに鍵を開けるなどの対応をしていく。

5. 閉 会